

2023 年度 工学部セメスター派遣プログラム募集要項

工学府・工学部学生国際交流プログラム小委員会・グローバル教育院

周知のとおり、新型コロナウイルス関連肺炎の感染拡大により今後の見通しが不明瞭な状況において、2020 年 1 月以降海外派遣を取り巻く状況はこれまでと大きく変化しております。本学でも 2020 年度 2 月以降全ての海外派遣プログラムを制限しておりましたが、2022 年度よりセメスター派遣の実渡航がようやく再開したという状況です。今後も、海外事情や国際交流に興味関心のある皆さんに、可能な限り充実した海外派遣の機会や様々な経験のサポートを提供したいと考えていることから、適切な状況判断を重ね、十分に準備したうえで、できる限り皆さんを安全に海外に送り出せるよう、従来の制度やサポート体制は引き続き継続していきますが、オンラインでの派遣先大学の講義の受講は、海外協定校の判断があった場合にはそれに従い継続していく方針です。

そのため、本要項に記載した情報は 2022 年 12 月上旬時点の内容ですが、今後の新型コロナウイルス感染拡大状況や世界情勢によっては、派遣期間や派遣内容、選考スケジュール及び派遣の実施の可否において 変更が生じる可能性があります。そのことを十分に理解いただいた上で、海外派遣に興味があり可能性に挑戦してみたいという方に応募してほしいと思います。

本学としても必要な情報は随時皆さんと共有しつつ進めていく予定ですので、派遣を希望される皆さん、また保護者の皆様におかれましては、状況に応じて適切な情報に基づき判断していただくとともに、大学としての危機対応方針および対策にご理解・ご協力いただけますよう、よろしく願いいたします。なお、本派遣プログラムの物理的な渡航については、学生の皆さんの健康及び安全を第一に考え、添付の「海外渡航・留学再開についてのガイドライン」に則り実施します。

(1) 概要

東京農工大学は、世界トップクラスの大学を目指し、その教育活動を通して農学または工学の専門性を持ち、教養豊かで国際社会において活躍できるグローバル人材を育成していきます。

本プログラムでは、大学間交流協定を締結している外国の大学に本学の代表として学生を派遣することにより、諸外国の大学との国際連携を図るとともに、日本と外国との架け橋になり得る実践型グローバル人材の育成を目的として、アジア及びヨーロッパ地域における後学期 1 セメスター期間での、交換留学を実施します。本プログラムで得た経験を、今後の研究・進学・就職に活かして欲しいと思います。

(2) 留学期間

2023 年 7 月下旬／9 月下旬 ～ 2024 年 1 月下旬／3 月上旬（予定）

（派遣先大学の学年暦に従うものとします）

※ 渡航条件その他制約を含め総合的に判断するため、状況に応じて派遣の中止（場合によってはオンライン講義のみ）や、派遣期間・時期の変更、派遣先大学の変更など、不測の事態が生じ得ます。

(3) 派遣先大学及び定員

KMUTT キングモンクット工科大学トンプリ校 (タイ、バンコク)	} 5 名程度
UTM マレーシア工科大学 (マレーシア、ジョホールバル)	
MJIIT マレーシア日本国際工科院 (マレーシア、クアラルンプール)	} 計 5 名程度
ITB バンドン工科大学 (インドネシア、バンドン)	
UI インドネシア大学 (インドネシア、デボック)	} 計 5 名程度
UPD フィリピン大学ディリマン校 (フィリピン、ケソン)	
DLSU デ・ラ・サール大学 (フィリピン、マニラ)	
SLU セントルイス大学 (フィリピン、バギオ)	
TUM ミュンヘン工科大学 (ドイツ、ミュンヘン)	
UG フローニンゲン大学 (オランダ、フローニンゲン)	} 計 5 名程度
UnivPM マルケ工科大学 (イタリア、マルケ)	
UM モンペリエ大学 (フランス、モンペリエ)	
UoO オウル大学 (フィンランド、オウル)	
	<合計 20 名程度>

※物理的な派遣がなくオンライン受講のみとなる場合は、上記のうち KMUTT、MJIIT、UTM、UoO のみ単位振替が可能。また、UnivPM は単位振替がない聴講のみでイタリア語の受講が可能。

※2022 年度実績としては、KMUTT、UTM、MJIIT、TUM、UG への派遣を実施。

(4) 内容

- ・英語での授業履修による単位認定
(農工大での単位互換は所属学科及び委員会で定められたルールに基づく)
 - ・ミニ卒業研究
(派遣先大学においてスーパーバイザーのもとでのリサーチ・プロポーザル作成)
 - ・自ら作る企業インターンシップ (支援・中継ぎはあり)
(ヨーロッパの派遣先大学派遣を除く、2~3 週間程度)
 - ・現地体験、学生との交流など
- ※派遣内容についても渡航時期の影響を受けて変更となる可能性があります。

(5) 留学費用 550,000 円~1,200,000 円程度 (渡航先、渡航条件その他によって変更の可能性有)

(内訳)

- ・渡航費 (往復航空券 10~20 万円程度)
※一部を大学が負担する可能性あり (年度予算が確定するまで未定)
(参考: 2022 年度は全員に渡航費の 5 割を一律負担。負担なしの場合も有り得る。)
- ・現地での生活費 (食費や宿泊費、企業インターンシップ期間中のホテル代等)、移動費用 (空港から宿舍までの往復、通学交通費、企業インターンシップ時の通勤費等)、海外旅行保険費用、パスポート取得費用、ビザ取得・解除費用、予防接種代、英語検定試験の受検料、その他留学に係る費用は自己負担
- ※ 現地での宿舍は、学内の寮、大学近くのアパート、ホームステイ等、大学によって異なる
- ※ コロナウイルス感染に係る諸経費は、原則自己負担
- ※ 派遣先大学の入学科・授業料は免除。留学中も休学せずに農工大に在籍 (農工大の授業料は支払う)

(6) 奨学金

希望する者は、各自で最新の情報を調べて、手続きを行ってください。

※コロナ禍により変更となる可能性があります。

●JASSO 海外留学支援制度奨学金

アジア：月 7 万円程度、ヨーロッパ：月 8 万円程度

※この奨学金は本募集とは別途申請の上、支給の可否が決定されます。

主な申請資格は以下の通り。

- ① 前年度（2021 年度）の成績をもとに計算した JASSO 成績評価係数(GPA)が 3.00 満点で 2.30 以上である者

「計算式」

$$\text{JASSO 成績評価係数} = \{(\text{評価 S と評価 A の総単位数}) \times 3 + (\text{評価 B の総単位数}) \times 2 + (\text{評価 C の総単位数}) \times 1 + (\text{評価 D の総単位数}) \times 0\} \div (\text{評価 S} \sim \text{評価 D の総単位数})$$

- ② 日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者

※他団体等から留学のための奨学金を受ける場合、その奨学金の支給月額合計額が JASSO 奨学金の支給月額を超えなければ併願が可能。

※その他、民間の奨学金などを各自で探してきて個人の責任において応募することは可能です。

その際、大学からの提出書類を求められた場合は可能な範囲で対応します。

また、JASSO 奨学金の状況次第では、併給の可否および上限額などの確認が必要ですので、状況に応じて個別にご相談ください。

(7) 事前・事後研修（予定）

- ・本学の派遣予定学生が内定した時点で調整をし、派遣前に渡航に必要な準備や確認を行う。
当該研修は「工学部特別講義Ⅱ」として単位付与される予定。

（日時や形式については参加者がそろった時点で調整予定）

- ・帰国後は、必要な成果報告会での発表、報告書の提出、その他必要な報告が必須となる。
- ・現地派遣が実施された場合には、事後研修を実施し、「工学部特別講義Ⅱ」として単位付与予定。

(8) 応募・選考

(8-1) 応募資格

- ① 本学工学部に正規の課程で学位取得もしくは卒業を目的に在学する者。
- ② 2023 年 4 月 1 日現在において、工学部 3 年に在学している者。なお、留学期間中も農工大に在籍すること。
- ③ 事前・事後研修に参加できること。
- ④ GPA が原則 2.5 以上（欧州の大学は 2.7 以上が望ましい）であり、派遣までに必修科目が取れていること。
- ⑤ 以下のいずれかと同程度の英語能力を有すること。
 - ・TOEFL(ITP): 510 点以上
 - ・TOEFL(iBT): 64 点以上
 - ・TOEIC(IP テスト含む): 600 点以上

・IELTS:5.0 以上

・英検準 1 級以上

※ただし、フローニンゲン大学、ミュンヘン工科大学及びオウル大学への派遣希望学生は、以下の英語基準を満たす者に限る。

IELTS 6.5 (各セクションで 6.0 以上)、TOEFL IBT92 (各セクションで 21 以上)、TOEFL CBT237 (各セクションで 21 以上)、TOEFL PBT580 (各セクションで 55 以上)、TOEIC785 点以上 (TOEFL ITP は不可)

※語学力を証明する書類を持っていない場合は、工学部 2 年生全員 (必須) を対象に実施した 2022 年 12 月 10 日の TOEFL-ITP 試験の結果を添付すること。

⑥ 本プログラムで得た経験を、今後の学業・進学・就職や、より長期の留学に活かす意志があること。

⑦ 自身の留学について、主体的に責任を持って手続きを進めると意識が高い学生であること。

⑧ 本学の代表として自立した行動の取れる人材であり、派遣先では協調性を持って生活・学業に関わる本学と派遣先のルールを遵守できること。

※派遣決定後であっても不適格とみなされる場合は派遣の取り消し、派遣中の場合は途中帰国もあり得ます。

※報告書提出等の義務や、第三国への不要な渡航禁止等の規定があります。

※上記の基準を満たさなくても、応募できる場合があります。その場合は事前に相談してください。

※応募する学生は、自身が所属している学科の教育委員もしくは学科担当委員に、事前に承認を得てください。対面で面談を行った場合は、申請書の「教員名 (自署)」にサインをもらってください。その際に、2022 年度前期までの成績証明書のコピーを持参ください。

対面での面談ではなく、メールでの相談により学科の教育委員もしくは担当委員の承認を得ていただくことも可能です。その場合は、成績証明書コピーを持参する代わりに、成績証明書 (PDF/画像ファイル) にパスワードを付したものを添付して相談してください。メールにより教員の承認を得た場合は、申請書の「教員名 (自署)」への記入は不要となりますが、代わりに教員の承認が確認できるメールのコピーを申請書提出期限までに教務係へ持参するか、または申請書とともに郵送してください。

(L 科：篠原准教授、寺准教授、B 科：山本准教授、田中洋介准教授、鵜飼教授、C 科：前田准教授、帯刀講師、村上尚准教授、荻野教授、U 科：大橋准教授、宮地准教授、レンゴロ教授、M 科：池田准教授、花崎准教授、A 科：久保准教授、藤田桂英准教授、瀧山准教授、堀田准教授)

※成績証明書の発行方法

小金井キャンパス管理棟 1 階設置の証明書自動発行機にて発行してください。

(8-2) 応募書類

- ① 申請書(別添様式)
- ② 英語能力を証明できるもの(コピー可)
- ③ 成績証明書
- ④ パスポート(既に取得している場合) (顔写真ページのカラーコピー)
- ⑤ 東京農工大学派遣事業応募に際しての承諾書兼誓約書
- ⑥ 学科の教育委員または担当委員の承認メール (メールで相談した場合のみ)

(8-3) 応募・選考スケジュール

説明会開催日程

【第1回】2022年12月15日(木)12:10~12:50

【第2回】2022年12月21日(水)12:10~12:50

【第3回】2023年1月6日(金)12:10~12:50

説明会開催場所：13号館5階 505室

募集期間：2023年1月5日(木)~2023年1月27日(金)

申請書提出期限：2023年1月27日(金)16:30厳守

申請書提出先：工学部 学生支援室教務係(管理棟(CUBE)1階)

提出方法：応募書類は以下の1または2の方法で提出してください。

1. 窓口での提出

小金井教務係(管理棟(CUBE)1階)の窓口へ紙媒体を持参してください。

(平日8:30~17:15、最終日は16:30まで)

2. 郵送による提出 (1月27日(金)必着)

紙媒体を以下の住所まで郵送してください。

〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16

東京農工大学 小金井地区事務部学生支援室教務係

セメスター派遣プログラム担当 行

第一次選考(書面)：2023年2月初旬~

第二次選考(面接)：2023年2月9日(木)・・・書面審査通過者には、教務係より、面接日時等の詳細を連絡します(オンライン実施の可能性あり)

選考結果通知：2023年2月下旬(ただし本年度後期の成績によって派遣取り消しの可能性あり)

派遣交流会：2023年4月3日(金)予定

(8-4) 選考基準

- ① 学業成績及び英語力
- ② 留学の目的及び計画が明確であること
- ③ 留学後の進路に対する計画・意識が明瞭であること
- ④ 国際交流活動への意欲や資質が備わっていること
- ⑤ 派遣国及び派遣先大学での学業及び生活に必要な適応性があること
- ⑥ 本学の代表としての適正・資質が備わっていること

(9) 問い合わせ先

(グローバル教育院)堀切友紀子准教授

13号館504号室：042-388-7622、horikiri@go.tuat.ac.jp

(来室の場合は事前に連絡をしてください)

(工学部)学生支援室 教務係

小金井キャンパス管理棟(CUBE)1階：042-388-7010、tkyomu1@cc.tuat.ac.jp

2023年度 工学部セメスター派遣プログラム 申請書

フリガナ	(セイ)				(メイ)	写真
氏名	(姓)				(名)	
氏名 (ローマ字)	(※パスポートの表記又はパスポート申請予定の表記と同様)					
住所	〒 -					
所属	工学部	学科	年	学籍番号	教員名(自署)	
連絡先	携帯電話： E-mail (大学付与メールアドレス)：					
出身高校						
語学力	※証明書添付のこと TOEFL(iBT・PBT・ITP)・TOEIC・IELTS・英検 _____ 点・級 ※いずれかに○をしてください。(____年__月__日時点)					
希望順位等	大学名			希望インターンシップ先企業 (TUM は除く) 2社		
	第一希望					
	第二希望					
	第三希望					
希望する研究テーマ	キーワードのみ：					
国籍*	(外国籍の場合、永住許可：有・無)					
奨学金受給状況	現在受給している奨学金： 有・無 (有を選択した場合) 奨学金名称： 併給： 可・否 月額 円					
保護者の同意	上記申請者が、東京農工大学セメスター派遣プログラムに参加することに同意します。 年 月 日 保護者氏名： _____ (自署)					

*奨学金要件確認、ビザ要件確認のため使用

◆留学プロポーザル◆

●志望動機

●自己 PR

●将来の計画、グローバル活動への抱負等

●派遣先大学で行いたい研究、学びたいこと等

研究キーワード（英語で）>

- 希望するインターンシップ先企業・団体へどのようにアプローチしていくか
(希望する国ごとに記載)

◆締切：2023年1月27日(金)16:30 厳守

◆提出先：工学部 学生支援室 教務係 [窓口持参]または[郵送]により提出